

# 発達特性・学年区分・指導形式

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
発達特性					前頭連合野の急激な発達					
	前操作期				形式的操作期					
	具体的操作期									
期	前期				中期			後期		
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
区分	4年				3年			2年		
内容	基礎・基本の習得				基礎・基本の定着			基礎・基本の応用		
指導形式	学級担任制						一部教科担任制			教科担任制

# 教職員同士の交流（小→中へ）



数 学

# 教職員同士の交流（中→小へ）



英語活動

# 子ども同士の交流（小中合同での吹奏楽練習）



# 子ども同士の交流（補習学習等における中学生の補助）



# 成果

## 1 小中教職員の協働意識の向上

- 9年間の学びと育ちの連続性を大切にする意識
- 小中お互いのよさを認め合う意識の高まり

## 2 児童生徒の不安感の軽減

- 中学校の教師への不安激減
- 中1の不登校の減少
- 小・中学校生活の落ち着き

# 課題

**1 小中一貫サポーターの人材の確保**

**2 カリキュラムの作成**

**3 複雑な中学校区における一貫教育**

# 年度別方策と展望

H25

H26

H27

H28~

乗り入れ授業・小中一貫サポーター配置

小5・6一部教科担任制

カリキュラムの作成

小学6年・中1意識調査・ガイダンス

QUテストの実施（研究委嘱校）

特別支援教育の充実（支援の連続性）

学びのカルテ作成・活用

モデル校による授業のユニバーサルデザイン化の研究

市内全校での授業のユニバーサルデザイン化の取組

各中学校区の特徴を生かした取組

児童生徒の自立



学ぶ喜び